

岐阜清流中学校区外国語科(英語科)における各学年の学習到達目標～話すこと[やり取り]・[発表], 書くこと パフォーマンス課題～

岐阜清流中学校・外国語科の目標

令和5年5月 岐阜市教育委員会

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。 ※学習指導要領参照

中学校修了時の目標

話すこと [やり取り]
ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。
イ 日常会話について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。
ウ 社会的な話題に關して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。

話すこと [発表]
ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。
イ 日常会話について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。
ウ 社会的な話題に關して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。

書くこと
ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。
イ 日常会話について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。
ウ 社会的な話題に關して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。

第3学年の目標

話すこと [やり取り]
日常的な話題や社会的な話題について、客観的な事実や様々な考え等に基づいた自分の意見・主張とその理由等を、対話がより継続・発展するように、聞き手の理解の状況を確認しながら、相手からの質問に対して適切に回答したり、自ら質問を繰り返したりするなどして、工夫しながら伝え合うことができる。
関連単元 NH:Unit2, 6

話すこと [発表]
日常的な話題や社会的な話題について、客観的な事実や様々な考え等に基づいた自分の考えたことや感じたこと、その理由などを、経験したことの例示などととも、聞き手の理解に応じて繰り返したり、強調したりしながら話すことができる。
関連単元 NH:SA.1 Unit5 SA.3

書くこと
日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことについて、話題に対しての賛否や自分の意見を述べたり、その理由や根拠を明確に述べたりしながら、内容を整理して、読み手に分かりやすい文章を書くことができる。
関連単元 NH:Unit3, 4, 5 SA.2

第2学年の目標

話すこと [やり取り]
日常的な話題や社会的な話題について、自分の経験等に基づいた考えや気持ちとその理由、具体例や事実等、まとまった内容を整理して伝えたと上で、伝えたと内容に対する質問に回答しながら、対話を継続・発展させて伝え合うことができる。
関連単元 NH:Unit2, 4

話すこと [発表]
日常的な話題や社会的な話題について、自分の経験や他教科等で学習したことに基づいた事実や自分の考え、気持ちなどをまとめ、その理由なども踏まえて、まとまりのある内容になるように構成を工夫しながら話すことができる。
関連単元 NH:Unit3 SA.2 Unit7

書くこと
日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、文と文の順序や相互の関連に注意したり、文章構成の特徴を意識したりしながら、まとまりのある文章を書くことができる。
関連単元 NH:Unit3, 7 SA.1, 3

第1学年の目標

話すこと [やり取り]
関心のある事柄や日常的な話題について、自分の考えや気持ち、身の回りの出来事等を、相手の発話に応じて、関連した質問や意見を述べたりするなどして、対話を継続させながら、即興で伝え合うことができる。
関連単元 NH:Unit2, 5 SA.2

話すこと [発表]
関心のある事柄や日常的な話題について、自分の考えや気持ち、身の回りの出来事等を、その場で考えを整理して、重要な情報に強勢を置いたり、つなぎ言葉や言い直し、身振り手振りなどを用いたりして、即興で話すことができる。
関連単元 NH:Unit6, 9 SA.3

書くこと
関心のある事柄や日常的な話題について、趣味や好き嫌い、日記や短い説明などを、文構造や文法事項を正しく用いて正しい語順で文を構成したり、読み手に伝えたい内容を整理したりしながら、文章を書くことができる。
関連単元 NH:Unit3, 11, SA.1, 3

則武小学校・早田小学校・英語科の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。 ※学習指導要領参照

小学校修了時の目標

話すこと [やり取り]
ア 基本的な表現を用いて挨拶、依頼をしたり、それらに応じたりすることができるようにする。
イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。
ウ 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができるようにする。

話すこと [発表]
ア 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
イ 自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

書くこと
ア 大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。
イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

第6学年の目標

上にした事柄について、楽しかった思い出や将来のことなどを、相手の理解に応じてゆくり言ったり繰り返したりしながら、その場で質問したり答えたりして伝え合うことができる。(CS:相手の理解を確かめる・5W1Hを用いた質問)
関連単元 NH:Unit7

上にした事柄について、将来の夢や小学校の思い出、地域への願いなどを、伝えようとする内容を整理して、OK? など聞き手の理解を確かめたり、聞き手を巻き込んだりしながら話すことができる。

自分のことや身近で簡単な事柄について、趣味や好き嫌いなどを例文を参考にしたり、語順を意識したりしながら読み手が理解しやすいように単語と単語の間に適切な間隔を空けて書くことができる。
関連単元 NH:Unit7,8

第5学年の目標

上にした事柄について、学びたい教科や生活習慣などを聞き手の理解を確かめながら伝え合うことができる。(CS:繰り返し・質問)
関連単元 NH:Unit1, 3, 6

自分のことについて、趣味や得意なことなど、伝える順番を考るなど内容を整理して話すことができる。
関連単元 NH:Unit4, 8

大文字・小文字を活字体で書くことができる。また、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句を、形や4線を意識して書き写すことができる。
関連単元 NH:Unit1, 4

中学年修了時の目標

話すこと [やり取り]
ア 基本的な表現を用いて挨拶、感謝、簡単な指示をしたり、それらに応じたりするようにする。
イ 自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うようにする。
ウ サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりするようにする。

話すこと [発表]
ア 身の回りの物について、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。
イ 自分のことについて、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。
ウ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、人前で実物などを見せながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。

第4学年の目標

自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、好き嫌いや欲しい物、持ち物などを、サポートを受けながら相手の言葉にOKと反応したり、動作を交えたりしながら、質問をしたり、質問に答えたりすることができる。(CS:一言感想・繰り返し)

日常生活に関する身近で簡単な事柄について、お気に入りの物や場所などを、具体物等を指し示しながら、適切な音量で話すことができる。

自分のことや身近で簡単な事柄について、色や形などの物の特徴や好き嫌いなどを、人前で実物などを見せながら、相手の目を見て話すことができる。

第3学年の目標

基本的な表現を用いて挨拶や簡単な指示などをしたり、それらに応じたりする。また、自分のことや身の回りの物について、好き嫌いなどを動作を交えながら伝え合うことができる。(CS:ジェスチャー・一言感想)

自分の好きな天気や食べ物などを、具体物を見せながら英語で話すことができる。

自分の好きな色や動物などを、具体物を見せながら英語で話すことができる。

第2学年の目標

英語で自分の好きな天気や曜日、月など、自分のことを伝えたり相手のことを聞いたりすることができる。(CS:ジェスチャー)

第1学年の目標

英語であいさつをしたり、自分の好きな色や動物など、自分のことを伝えたり相手のことを聞いたりすることができる。(CS:ジェスチャー)

<9年間を通して指導する対話を続けたり広げたり深めたりする方法>
→小学校各学年の目標でCSと記載。
・関連質問(小5～小6 中心)
具体例) 5W1Hを用いた質問等
・相手の理解を確かめる(小6 中心)
具体例) OK? Do you understand? ...etc
・繰り返し(小4～小5 中心)
・一言感想(小3～小4 中心)
具体例) I see. / Me,too. ...etc
・ジェスチャー(小1～小3 中心)
中学校では、小学校での学習を踏まえ、必要な場面で指導す